

本田雅人 (Sax)

音楽教員の両親の影響で小3からサックスを始める。

国立音楽大学時代、山野ビッグバンドジャズコンテストにて優勝し、最優秀ソリスト賞を受賞する一方、原信夫とシャープス&フラッツのリードアルトを務める。

卒業後はトップアーティストのレコーディングやツアーサポート等に多数参加。

1991年フュージョン・バンド「T-SQUARE」加入。フロントを務めると共に、作曲、アレンジ面でも活躍。

1998年に退団後はソロアーティストとして活動。自己の「本田バンド」以外にも自身のビッグバンド「B.B.Station」や「Witness」「Four of a Kind」「Voice Of Elements」等のプロジェクト、佐山雅弘や鳥山雄司等とのデュオ、そしてワンマンライブなどの演奏活動とともに、アレンジからプロデュースまで多岐にわたり取り組んでいる。

ボブ・ジュームス、デヴィッド・サンボーン、マーカス・ミラー、ハーヴィー・メイソン、レイ・パーカーJr. など多数の大物アーティストとも共演。

ジャズ系雑誌人気投票での首位常連。オリジナルだけで10枚のアルバムをリリース。

昭和音楽大学客員教授

○梶原 順 (Guitar)

幼少の頃よりピアノを弾き、中学2年の時にギターを手にする。その後、ロックに始まり、様々な音楽を体験するにつれ、そのギタースタイルも多種多様化していく。プロミュージシャンを目指し1979年に上京。1981年、プロとしてのキャリアをスタートさせる。その後数々のアーティストのツアーサポートを務め、スタジオミュージシャンとしてレコーディングに参加した楽曲数は計り知れない。また、自身の音楽を求め、「J&B」「JとB」「SOURCE」「Witness」といったグループ活動も行い、現在は「J&K」[coco←musika]を中心に、「自身のソロ活動」、併行して『昭和音楽大学』や『Alterd Music School』において講師として後輩の指導にも力を注いでいる。

○友田ジュン (Piano)

2015年にフュージョンバンド『DEZOLVE』(ディゾルブ)を結成。同グループ2018年発売「PORTRAY」にて、キングレコードよりメジャーデビュー。これまでに計5枚のアルバムをリリース。最新作「Frontiers」はAmazon、iTunes各チャートにおいてベストセラー1位を記録。

tv asahi『関ジャム完全燃SHOW』にて【アルバム一枚通して聴いてほしいJ-POPの名盤】に選出されるなど、各所で好評を博している。ライブサポート、レコーディングはこれまでに中村あゆみ、やなぎなぎ、葉加瀬太郎、本田雅人(ex.T-SQUARE)、DIMENSION、青木カレン、宮野真守、水瀬いのり、フィロソフィーのダンスなど多数。繊細なタッチとリカルかつブライトなプレイ、ジャズをバックグラウンドとしながらもジャンルレスなスタイルによるアンサンブル適応能力に多方面から高い評価を得ている。

○森光奏太 (Bass)

1998年1月14日、広島生まれ。

Bassist/Composerとして東京を拠点に活動。幅広いジャンルのアーティストをサポートすると共に、2020年にドラム上原俊亮とのユニット『Spice rhythm』を結成し、主にR&B、Soul、Funkを軸とした楽曲を制作・リリースしている。

また、bAe、倉田美和といった同年代のアーティストに楽曲提供も行っている。

○山本真央樹 (Drums)

幼い頃からロック、フュージョン、ジャズを主に色々な音楽に触れドラムに興味を持ち、独学でドラムを始める。

2011年よりアメリカのパークリー音楽大学に奨学金を獲得した後入学し、ドラムを主に中南米の打楽器を多くの講師に師事。演奏活動を行う傍ら、作編曲活動にも力を注ぎDTMを中心とした楽曲提供も行うようになる。

2012年帰国後、本格的にプロデビューを果たし、角松敏生、Little Glee Monsters、ゴスペラーズ、とんねるず、Hey!Say!JUMP、などのアーティスト、そしてゲーム、アニメの主題歌のレコーディング、ライブのサポートを担当。

多方面への作詞作編曲など、ドラムだけでなく、コンポーザーとしても活動の場を広げている。

